



# ぷらっつ 篠崎

江戸川区立篠崎図書館 〒133-0061 江戸川区篠崎町 7-20-19 篠崎文化プラザ内 (03-3670-9102)

## 館長の紙BLOG

2008/11/01

篠崎文化プラザは図書館をはじめ、総合的な文化施設として、市民の生活に貢献しています。その中でも、図書館は、市民の生活を支える重要な役割を果たしています。

さて、このブログは、篠崎文化プラザの館長が、日々の活動や、市民の生活について、お話しします。

今回は、篠崎文化プラザの「おこし」について、お話しします。

「おこし」は、各施設がそれぞれに、おこしを、おこなっています。例えば、図書館では、おこしとして、おこしを、おこなっています。

おこしは、おこしを、おこなっています。おこしは、おこしを、おこなっています。おこしは、おこしを、おこなっています。

清作は、一等卒の服を着て、野原に行つて、ぶどうをたくさんとつてきた。清作は、ぶどうをみんなしぼりあげ、砂糖を入れて、瓶にたくさん詰めこんだ。

清作が、納屋にしまった葡萄酒は、みんなは、じけてなくなつた。

## イベント情報11月・12月

### ～大人のための映画会～ ライブラシネマ篠崎

第1回上映作品「素晴らしき哉、人生」

11月23日(日) 14:00 ~ 16:30

第2回上映作品「セカンドコーラス」

12月13日(土) 14:00 ~ 16:00

- ・場所： 篠崎文化プラザ 講義室
- ・定員： 50名(先着順)  
どなたでも参加できます
- ・入場料：無料
- ・問合せ：篠崎図書館  
(03-3670-9102)まで

### 図書館主催講演会

「シニア海外ボランティア、がんばる！  
- キャリアを生かして国際協力 -」

講師 山内順三氏  
(国際協力機構(JICA) シニア海外ボランティア平成19年第4次隊)

- ・日時： 11月30日(日) 14時～16時
- ・場所： 篠崎文化プラザ 講義室
- ・定員： 100名(先着順)どなたでも参加できます
- ・入場料：無料
- ・問合せ：篠崎図書館(03-3670-9102)まで

### 特集展示

「手紙」 11月1日～30日  
「あの人に何を贈ろう」 12月1日～27日

# IT コーナー



インターネットや  
デジタル情報データ  
ベースを駆使して  
調べものを！

インターネットやデジタル  
情報データベースを無料で使  
用できるスペースです。特にデ  
ジタル情報ベースはビジネスや  
生活情報など様々なシーンに  
役立つものが揃っています。

要目  
利用時間：30分  
(30分延長可)  
席数：7席  
(うち1席はデータ  
ベース専用)

(利用可能データベース)

- ・聞蔵 ビジュアル
- ・日経テレコン21
- ・Japan Knowledge
- ・LexisNexis JP
- ・ルーラル電子図書館
- ・官報情報検索サービス

# 図書館の新しいサービス

- The Library's New Service -

# AV コーナー



CDやDVDの視聴、  
映像情報ネットの  
鑑賞に！

CDやDVDを視聴するための  
スペースです。  
また、映像情報ネットで  
大正、昭和のなつかし映像や  
石田衣良さんによる作品紹介  
などバラエティ豊かな映像を閲  
覧することができます。

要目  
利用時間：30分  
(30分延長可)  
席数：3席  
(2人用2席)  
(1人用1席)

(映像情報ネット)

- ・23コンテンツ視聴可能

主な視聴可能コンテンツ

- ・関東大震災
- ・東京タワー完成
- ・両国花火
- ・小松菜料理 など

# メディア ワークルーム



## 静かな空間に パソコンを持ち込んで作業を！

現代ビジネスマンに必携のアイテムであるパソコン(電子機器等)を持ち込んで作業出来る部屋です。パソコン用の電源供給はもちろん、公衆無線LANでインターネットも使用することが出来ます。

室内には就業・ビジネスに役に立つパンフレット類を置いてあります。

### 要目

利用時間:

[午前]: 9時 ~ 12時50分

[午後]: 13時 ~ 16時50分

[夜間]: 17時 ~ 21時30分

入れ替え制のため、時間になったら一旦退席していただきます。

席数: 12席

(利用可能無線LAN)  
NTT東日本がサービスする「フレッツスポット」

当館では新しいサービスのスペースを提供しており、使い勝手を実感していただくために広く利用をよびかけています。いずれもカウンターで「かしだしけん」(メディアワークルームのみ住所の確認できるものでも可)を提示していただいで使用申込を受け付けています。(予約制ではありません)

# グループ 研究室



## 図書館資料を使用したグループでの調査 や研究に！

図書館の資料を使って調べものをすすめることができる専門の部屋です。

少人数でまとまった調べものをしたいとき、会議の資料集めやプレゼンテーションの事前準備にお役立て下さい。

### 要目

利用時間: 4時間

(1時間延長可能)

部屋数: 3室(A,B,C)

利用人数:

(研究室A) 4人以上8人まで

(研究室B) 2人以上4人まで

(研究室C) 2人以上4人まで

小学生以下のみのグループの利用はできません。



## スタッフのセレクション！ その第3回

このコーナーでは、篠崎図書館で働くスタッフが、ほとんど個人的趣味で選んだオススメ本やCDを毎号紹介してまいります。今号は、新人のKさんが選んだ、感動作です。

### 「光とともに... 自閉症児を抱えて」 戸部けいに著

自閉症という言葉は知っていたが、それを持つ方々が実際どのように暮らしているのか、このマンガを読むまでは全く知らなかった。大学では自閉症に関する研究に携わっていた事もあったのだが、恥ずかしながらその当時も、授業で習った自閉症を持つ人々の特徴のみを漠然と知っていただけだったのだ。

光（ひかる）くんという一人の自閉症を持つ男の子の主人公の成長を通じて、自閉症についての理解を深める事が出来るようになっていく。よく考えてみると、小説などの文章やドキュメンタリーなどの映像とはまた違い、様々な登場人物の視点を交えながら1つのストーリーを織り成していくというマンガならではの手法が、この一見難しいトピックを分かりやすく、そして心に響かせるものとして描き出すことを可能にしている気がした。

読み進んで中で幾度も涙したのは、主な語り手である光くんの親の気持ちにいつの間になんかになっていて、光くんの成長を共に見守っていたからだと思う。

親自身や周りの自閉症への理解・支援が足りない事から様々なトラブルに巻き込まれる事もあるが、徐々にサポートや理解が得られるようになると、親子の気持ちは段々落ち着いていき、明るく「光とともに」暮らしていけるようになる様子が描かれていて、実に温かい気持ちになる。タイトルの「光とともに...」という意味は他に、光くんがキラキラと光るものを見ているのが大好きだから、光くんは「光とともに」ずっと生きていくという意味もあるのかなとふと思った。

自閉症の症状は人によって実に様々なのだそうで、それはいわゆる「健常者」が様々な個性や価値観を持つのとまた変わらないのではと感じた。「障害者」という表現は間違いで正しくは「障害のある社会」、つまり色々な個性を持つ人々が平等に生きていくための、制度・支援・理解が欠けている社会をそう呼ぶのが正しい表現なのでは、と思わざるを得ないのである。

(篠崎図書館に所蔵しています 726ト)



図書館と同フロアでカフェと伝統工芸品の販売をしています。

#### 図書館利用者特典

「かしだしけん」をご提示いただきますと、スタンダードコーヒーが20%割引になります。



おいしいコーヒーを飲みながら、ゆっくり読書を。

### 江戸川まいにんぐ 発掘 第3回

## 潮位表示板

都営新宿線の各駅の駅前スペースに、潮位表示板があるのをご存知でしょうか。2本足の柱に緑、赤、黄、青の4枚の板が取り付け、近未来的なフォルムで突っ立っています。土地の7割が海面下であり、生活が堤防に守られている江戸川らしい仕掛です。

画像は瑞江駅前に設置されている表示板で、緑の板はこの至近の堤防の高さ(A.P.+5.8m)を示しています。もし、極悪台風が直撃コースで襲来したら、赤い板の高さまで高潮が押し寄せると予想されます。ちなみに篠崎駅前の至近の堤防の高さはA.P.+8.5mあり、瑞江より安心(?)。

ところでA.P.とはArakawa Peilの略で、あの荒川と、オランダ語で基準面を意味するpeilを組み合わせた、1874(明治6)年以来使われている水位表記です。明治新政府は近代水利工事の技術導入を、その道の世界的オーソリティーであるオランダに求めたので技術用語としてpeilが定着してしまいました。

司馬遼太郎の「街道をゆく」シリーズのうち「オランダ紀行」を読むと、阿蘭陀人御雇(おやとい)技師の仕事ぶりがわかります。これまでに何度も水びたしになった経歴がある江戸川区にあっては潮位表示板はなかなか説得的です。

(miningとは：資源や情報を掘り出すこと)



瑞江駅の潮位表示板